

渡航事情説明書

外務大臣殿

平成 年 月 日

氏名

私は下記3のとおり、一般旅券の発給制限に該当しておりますが、外国へ渡航する必要がありますので、旅券発給方よろしく申し上げます。

1. 申請人に関する事項

氏名（ふりがな）
生年月日
本籍地
現住所・電話番号
職業・勤務先及び電話番号

2. 渡航に関する事項

渡航目的
渡航先
渡航予定時間
渡航の必要性（渡航しなければならない理由について詳細に）

3. 発給制限該当事由の詳細

- (1) 法第13条第1項第1号該当の場合（外国官憲から退去命令を受けたことがある場合、外国において刑に処せられたことがある場合。）
- イ. 時期・場所
ロ. 違反とされた事実関係
ハ. 処分の内容
ニ. 関係者（例えば犯罪の場合の共犯者）の有無
ホ. 帰国の時期・方法（自費・国費・相手国政府の費用）
- (2) 同上第1項第2号該当の場合（現在、日本国法令により、犯罪の容疑で起訴されている場合）
- イ. 罪名
ロ. 係属裁判所（部名まで）
ハ. 起訴された時期
（係属裁判所からの海外旅行の許可書及び起訴状の写各2部を添付すること）
- (3) 同上第1項第3号該当の場合（現在日本国法令により、仮出獄、刑の執行停止、執行猶予又は保護観察の処分を受けている場合。また、刑の執行を受けなければならない状態にある場合）
- イ. 罪名
ロ. 裁判所名
ハ. 判決年月日・判決の内容（判決謄本2部を添付すること）
ニ. 執行状況
- (4) 同上第1項第4号該当の場合（旅券法に違反して刑に処せられたことがある場合）上記(3)に準じ記入する。
- (5) 同上第12項第4号の2該当の場合（「国の援助等を必要とする帰国者に関する領事官の職務等に関する法律」を適用され、外国から帰国したことがある場合。）
- イ. 国援法の適用を受けるに至った事情
ロ. 貸付けを受けた時期及び取扱った在外公館名
ハ. 貸付けを受けた費用の種類・金額
ニ. 帰国の時期・輸送機関・経路
ホ. 返済状況